

ひたちアジア

第45号

2013年(平成25年)2月

発行：ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 広報部会



第10回ひたち国際文化まつり開催 交流の輪 広がる



会場の様子



日本語意見発表会の様子

「第10回ひたち国際文化まつり」は、昨年11月17日(土)10時から日立シビックセンターにおいて開催されました。天候の心配がありましたが、日立産業祭との共催ということもあり観客は延べ2,500人、国際文化交流の輪がさらにひろがりました。〔展示コーナーは11月13日～18日の6日間〕

1階「Kids & Experience Zone」では、ギャラリーで「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展の表彰式がおこなわれました。出展総数726点から選ばれた21名の方に表彰状や記念品が贈られました。

また、ガールスカウト10団による世界の遊びが紹介され、子どもたちがフィリピンやニュージーランドの遊びを楽しそうに体験していました。

2階「Talk Zone」では、午後1時から今回で22回目となる「外国人の皆さんの日本語意見発表会」が開催されました。表彰式までの時間を使い、昨年に引き続き「タウランガ市短期留学中学生体験報告」もおこなわれました。11人の発表者のなかから優勝したのはベトナムからの留学生(茨城キリスト教大学)の

NGUYEN Huong Thi Thanh (グエン・フォン・ティ・タン)さん。表彰式終了後には発表者のみなさんとの交流及び意見交換も行われました。

4階「Eating Zone」では、国際屋台村がオープンし、韓国のビビンパ丼、フィリピンのリッチフラン、バングラデシュカレー、ブータンのパクシャ・パ(豚肉と大根の煮物)等アジア各地の料理が提供され、各料理とも売切れとなる盛況でした。

5階「Culture Zone」では、生け花とお茶席の日本文化体験や、外国人の生け花展示や、ブータンの民族文化紹介、「中国と出会おう」コーナーでは映像による中国文化紹介やお茶のサービスと共に、簡単なクイズに正解すると中国のストラップがプレゼントされました。

7階「Consultation Zone」では、2回目となる外国人のみなさんを対象に生活・健康無料相談会が行われました。

次ページに内容を、写真とともに紹介します。



1F

日立シビックセンター
1階アトリウム風景
万国旗の下、世界の遊
びで賑わいました。

ギャラリーでの「絵で伝えよう！わたしの町の宝物」絵画展です。こんなにたくさんの絵が展示されました。表彰者は21名でした。



日立市・バーミンガム市姉妹都市
提携30周年記念パネル展示です。

第10回 ひたち国際文化まつり 写真集



2F

4F



外国人の皆さんの日本語意見発表会に出場した11人の方々です。ベトナムからの茨城キリスト教大学留学生がさくら賞を受賞しました。テーマは「私の周りの若者」。滞在6ヶ月で素晴らしい意見を発表しました。

外国の料理を楽しむ国際屋台村。ブータン・バングラデシュ・フィリピン・韓国・ケニアなど様々な国々の美味な味でした！

5F



「日本と中国共通の文化を知って楽しく交流を」と中国茶の試飲や漢字遊び、羽蹴りを体験しました。外国人の皆さんの生け花が各コーナーに飾られ、会場を彩りました。生け花体験では、個性的な作品が作られ参加者多数でした。お茶会体験はいつもながら人気！今年は、お茶会の流れを英語で解説するコーナーがあり、実際にたてる体験のコーナーにも興味を寄せてもらいました。



いろいろな国の文化の紹介と体験できる階です。ラオスやブータンの紹介や民族衣装の試着。アジア雑貨の展示販売、アジアンバザールなど。賑わいました。



「ブータン企画展」と「古代エジプト展」見学ツアー

今年度の「バスで行く文化めぐり」は、テーマ国「ブータン」の文化を学ぶ機会として、埼玉県で開催された企画展示「自然いっぱい、幸せいっぱい、ブータン王国」と六本木ヒルズで開催された「古代エジプト展」見学として、昨年8月26日(日)に開催されました。

朝から快晴となり、猛暑の中、参加者43名(事務局2名を含む)の体調が心配されましたが、全員無事にて開催されました。

まず、最初の目的地東京六本木ヒルズ森タワー52階にある「森アーツセンターギャラリー」で開催された「古代エジプト展」を見学しました。古代エジプトでは、死者が来世で復活するために必要な呪文集「死者の書」が作られ、パピルスの巻物などに、死者が冥界の旅で出会う神々や動物、風景などが挿絵と文字でつづられました。会場には、現存する「死者の書」で世界最長の「グリーンフィールド・パピス」の全容が日本で初めて展示されていました。自由時間に喫茶コーナーから見た眺望も印象に残りました。

次は、六本木ヒルズから徒歩で移動しての昼食です。シンガポール料理店「シンガプーラ」です。少々ボリュームに不足を感じた人が多かったようですが、東南アジアの味を味わいました。



埼玉県自然学習センターで「ハイ！チーズ」

徒歩で六本木ヒルズ森タワーの駐車場に戻り、最後の目的地、埼玉自然学習センターへ向かいました。ここは、埼玉県北本市の「北本自然観察公園」の中にあり、自然や環境問題について学習し、理解を深めてもらうための施設です。ここで開催されている企画展示「自然いっぱい、幸せいっぱい、ブータン王国」を見学しました。最初にセンターの自然学習担当の佐々木さんからセンターの概要の説明があり、次に会場を巡りながら企画展示の展示物についてわかりやすく説明していただきました。ブータンの民族衣装の着付けコーナーは、見学予定時間ぎりぎりまで体験し、盛況でした。なお「第10回ひたち国際文化まつり」のブータン文化紹介コーナーの展示品は、一部をセンターのご好意により借用したものです。

すべての予定を終了し一路日立へ向かいましたが道路の渋滞と、昼食に不足を感じた参加者の希望により、急遽サービスエリアで休憩・軽食をとり、18時30分頃、無事シビックセンターに帰着し解散しました。



佐々木さんから展示物の説明を真剣に聞く会員

楽しく
皆で食事
(^_^)v



アジア料理サロン「ブータン料理」

昨年の10月20日(日)11時～15時30分、日立シビックセンター料理室において、ブータン料理教室が開催されました。先にブータン国王が来られ、様々なテレビ番組で、ブータンの映像が流れたこともあり、18人の一般市民の方々と会員11人を含め29人での講習となりました。ホームページで知り水戸から参加された方もおりました。講師は、ブータンの旅の案内人であり、「ヤクランド」(ブータンゆっくり勉強会)を立ち上げた久保淳子先生。先生は、テーブルを回りな



調理作業の様子

がら指導され、どの班も手際よく和気あいあいと進めることが出来ました。「豚肉と大根の煮物」



ブータンの地形を説明する久保先生

「じゃがいものチーズ煮」「山椒風味のサラダ」を作り、何れも日本人にも馴染みやすく、ブータンの香りも感じ、美味しくいただくことができました。

食事のあと、久保先生からブータン文化の紹介をしていただきました。名前をいただく為の宮参り、お祭りに対する国民性、至る所に日本橋があり西岡さん(海外技術協力事業団に所属してブータンで活動した日本人農業指導者、1992年没)の貢献から来る日本人に対する厚い思いがあること、病院の待合室に仏壇があること、小学校の教科書が英語で書かれていること、私たちの興味をそそる話を聞くことが出来ました。最後にブータンの民族衣装を参加者2人が試着しました。ブータンを限りなく愛していることがにじむ素晴らしい講演でした。

ブータンの家庭料理 レシピ

【パクシャ・パ (豚肉と大根の煮物)】

材料 (2-3人分)

- ・豚肉 (170g ひと口カツ大に切る) 大根 (1/3本、皮を剥いて厚さ5mmの輪切り)、トウガラシ2-4本、小松菜 (青梗菜でも。3-4枚あればOK。大きいまま)、タマネギ (1/6個、薄切り)、生姜 (2カケをみじん切り)、塩 (適宜)、サラダ油 (大さじ2)

作り方

- ①鍋に豚肉、水 (肉がかぶるくらい)、塩少々、サラダ油を入れて火にかける。
- ②肉に火が通ったら大根、玉ねぎ、生姜を肉に被せるように入れ、蓋をして中火で煮る。(目安5~7分)
- ③大根に火が通ったら、カブの葉、トウガラシ (縦に2つに裂く) を加え、蓋をしてさらに煮る。
- ④葉がしんなりしたら、上下をひっくりかえして全体に



味をなじませる。水分はほとんど蒸発させる。味を見て必要なら塩を足してなじませる。

【ケワダツィ (ジャガイモのチーズ煮)】

材料 (材料 (2-3人分))

- ・ジャガイモ (2個、5mmの厚さの輪切り)、トウガラシ (2本、種を抜いて2cmくらいに裂く、粉トウガラシでもよい)、タマネギ (1/6個、薄切り)、にんにく (1カケ、薄切り)、トマト (小半分、薄切り)、チーズ (ベビーチーズ2個分くらい)、塩 (少々)、サラダ油

作り方

- ①鍋にジャガイモ、タマネギ、トマト、塩、水 (材料が少し顔を出すくらいでよい) を入れ、サラダ油を小さじ2くらいふりかける。火にかける。
- ②口火にしてジャガイモが柔らかくなるまで煮る。トウガラシ、ニンニク、薄く切ったチーズを加えてチーズがとろけてきたら、全体を混ぜる。塩加減を調整して出来上がり。肉をきれいに切り分ける。



カンボジア通信 第2シリーズ NO. 3

青年海外協力隊(理数科教師) 浅水 伸介

浅水伸介さんは、茨城大学卒業後、2009年1月から2年半にわたり青年海外協力隊員としてカンボジアで活動され、その後また昨年1月から短期ボランティアとしてカンボジアに赴任されています。第2シリーズでは、カンボジアの生の現状やご自分の思いを紹介していただいております。

カンボジアの学校制度は日本と同じで9年間の義務教育です。ところが義務教育どころか小学校すら出られない子供達が多く存在します。カンボジアの小学校を訪ねると、15歳で小学生というのも珍しくありません。これは入学するのが遅かったため、中退率が高くなる事を意味し、例えば、10歳で小学校へ入学すると15歳になった頃にはまだ小学校を卒業していないのに、就業できる年齢になったという理由で学校は退学させられます。残念ながら、教育はなくてもお金が入る方が良くと考える人が多いのがカンボジアの実情です。

彼らは、先進国から入ってきた携帯電話やテレビやオートバイを買うために出稼ぎに行くわけですが、国内で働くより、タイに行ったほうが高賃金なので、出稼ぎ先はタイが良い、タイにしてみれば、カンボジアの方が安く雇える、両者の利害が一致し、出稼ぎが盛んになっています。しかし、出稼ぎの仕事に行くためには、仲介業者への多額の仲介料がかかったり、建設作業を中心とした重労働についたりするばかりです。

これらは良い方で、ただ働きをさせられた上、不法滞在とは知らずに仕事を続けさせられ、警察に逮捕されてしまうという子供達も多くいます。いくら就業できる年齢とはいえ、教育をほんの僅か受けた程度で、かろうじて文字が読める程度の子供達です。悲惨な内戦、ポルポト政権という過酷な状況乗り越え、今となっては、経済だけがどんどん成長していやおうなしにその渦の中に巻き込まれているカンボジアの人たちに、「自分の頭でしっかり考える」ために私達援助関係者の存在が大切ではないかと思っているのですが、このままだと単純に金儲けが先行しそうで怖いです。

読み書き計算はできなくても、テレビが買え、オートバイが持てたらということでしょうか。先進国で育った私にはこの辺の感覚が未だ理解できないのです。これについての自分なりの解決策提示ですが、「とにかく6歳で就学させることを徹底する」事です。そうすれば、15歳までに義務教育が終わる。その後タイへ出稼ぎに行くのは

彼らの勝手だが、少なくとも義務教育が終わってれば金で騙されたり、エイズになって帰ってきたりすることはないだろうと思います。

私の協力隊活動を通して思ったことは、途上国の人々が自分達で人生設計を考えられるような環境作りをしていく事ができたら、という事です。いくら物やお金を与えても、それらに対して一時的には感謝されたとしても、前回のカンボジア通信でも述べたような「援助慣れ」の原因になってしまっは、援助が途上国の自立を阻むことになってしまいます。政治的にも経済的にもカンボジアを配下に置きたいと考える中国の援助を見ると、援助額のわりには援助の質が劣悪で、お金に関する透明度の低さ、中国本土から労働者を連れてきてカンボジア人を雇わないなど、カンボジア人と物を作り上げるよりも、一人よがりな援助色が強く、いわゆるバラマキで、カンボジアの自立を促す援助になっていません。

それに比べると日本の援助は長い目で見れば、カンボジアの人々の将来のためにベクトルが向いていることがわかります。特に最近、事業仕分けに代表され、海外援助に対して日本国内から厳しい見方をされる事が少なくありません。そのため、私達の関わっている援助も「本当に必要なものを必要な人たちに」というコンセプトは欠かせない考え方になっています。ODA(政府開発援助)の中で唯一、途上国の一般大衆の中に入って行って、草の根で活動する協力隊活動は、本当に援助を必要としてくれる人々に対してアクセスできる貴重な事業の一つです。

皆様におかれましては、JICAの行う協力隊事業を応援していただくことと同時に、茨城に住む外国人の皆様にも温かい手を差し伸べていただくことを願ってやみません。

(2012年9月記)

写真は アンコールワット遺跡内で、観光客に群がる土産物売りの



子供達。彼らは学校に行かずに、物売りをして家計の足しにしている。

情報コーナー

シビックサロン

「ゼロからはじめるかんたんヨガ」…心身共にリフレッシュしましょう…

春に向けて新しいことを始めたいと思っている方
リフレッシュ*リラックス*リセットしたい方
既にスポーツやコーラスなどを楽しんでいる方

あらゆる体づくりの基礎として誰でも簡単にできるヨガを日々の生活に取り入れてみませんか?
デトックス効果で理想のカラダづくりを目指しましょう!

と き 平成 25 年 3 月 16 日 (土) ・ 30 日 (土) 【全 2 回】
A コース : 14:00 ~ 15:20
B コース : 16:00 ~ 17:20
※上記いずれかのコースをお選びください。
と ころ 日立シビックセンター第 2 音楽室 (地下 1 階)
定 員 各コース 20 名 (女性限定・先着順)
受 講 料 3,000 円
講 師 沢 りえ (オスカープロモーション所属、ヨガインストラクター)

関連団体のイベント・活動を紹介するコーナー (2013年1月~2013年6月)

主 催	タイトル	日 時	場 所	問い合わせ先
日立市 日中友好協会	春節祭	2月10日(日) 午後3時~5時	日立シビックセンター マーブルホール	090-2531-5444(白土)
フレンドリー あんず	外国人のための生け花クラブ	第3又は第4水曜日 10:00	教育プラザ	0294-21-4150(福地)
	日本語教室	毎週火曜日 19:00 金曜日 14:00	(火)女性センター (金)教育プラザ	0294-25-3827(反町) 0294-42-8176(金岡)
	ET会(タイ料理とお惣菜)	2月17日(日) 9:00~12:00	女性センター	0294-21-4150(福地)
	ET会(内容未定)	5月予定	女性センター	
	さくら祭りを楽しむ会	4月13日(土)11:00 集合	教育プラザ	
国際交流 ボランティア ネットワークさくら	日本語教室	毎週木曜日 10:00 土曜日 10:00	(木)教育プラザ (土)女性センター	0294-21-5849(横田)
	ホームヴィジット受入れ	5月から		
日立ユネスコ 協会	「私の町のたからもの絵画展」	2月5日(火)~10日 (日)10:00~21:00	イトーヨーカドー一 立店3階連絡通路	0294-35-6034(藤原)
	「私の国のたからもの お絵描き会」	6月23日(日)9:30 ~12:00	会瀬交流センター	
	「日本食文化体験」	6月23日(日)9:30 ~12:00	会瀬交流センター	
ガールスカウト 10団	シンキングディ	2月3日(日)	久慈川南交流センター	0294-23-3156(小貫)
	スキー訓練	2月24日(日)	沼尻スキー場	
	わんぱくおてんばふれあいランド	3月17日(日)	池の川運動公園	

活動記録

2012. 8. 1~2013. 2. 1

編集後記

- ◆活動推進部会(メンバー定例会)
8/18、9/22、11/1、12/6
- ◆広報部会 12/6、1/20
- ◆ひたち国際文化まつり実行委員会
8/18、9/28、11/1、12/7

昨年テーマ国「ブータン」から十何年かぶりに、広報部会に参加させていただきました。興味はあったものの、新しいことを知る度に「へーそうなんだ!」と発見したり、「ほおー」と感心したりすること、多々ありました。少しでも他の国の文化を知れば争いが減るのに、と思いながら、日立の良さを発信できるよう『ひたちとアジアの文化交流をすすめる会』の一員としてお役に立てるよう頑張っていきたいです。そして、たくさんのお会いがありますように。パチパチ!(拍手の音) 川崎記

ひたちとアジアの文化交流をすすめる会 ホームページ <http://www.civic.jp/hitachi-asia/>

連絡・問い合わせ・感想・入会希望等は、日立シビックセンター内「ひたちとアジアの文化交流をすすめる会」事務局まで

TEL 0294(24)7711 FAX 0294(24)7970 E-Mail salon@civic.jp